

令和 2 年度 教育 研究 業績 書

氏名 床谷 文雄

最終学歴	大阪大学大学院法学研究科博士後期課程民事法学専攻単位取得退学	
取得学位	法学修士	
所属学会	日本私法学会、比較法学会、日本法社会学会、日本家族(社会と法)学会、比較家族史学会、日本成年後見法学会、ジェンダー法学会、国際私法学会、日韓家族法学会、International Society of Family Law	
専門分野	民法、家族法	
研究課題	親子の法律関係、養子と里親、相続契約、遺言法	
授業科目	学部担当科目	基礎演習 I、 日本国憲法(一)、日本国憲法(二)、日本国憲法(三)、日本国憲法(四)、 法学(一)、法学(二)、法学(三)、 現代社会と法(一)、現代社会と法(二)、現代社会と法(三)
	大学院修士課程 担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	・人間論IV
【研究上の特記事項】	科研費「匿名による子どもの委託と生殖補助医療における出自を知る権利に関する日独比較研究」に従事した。	
【教育上の特記事項】	学内でのFD活動としての講演会等に積極的に参加した。	
【社会的活動】	比較家族史学会理事(副会長)、日本成年後見法学会理事、国際家族法学会(International Society of Family Law)理事、 公益社団法人家庭養護促進協会理事、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート理事、 こうべ安心サポート委員会委員	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	ハラスメント防止委員会委員、就職委員会委員、キャリア教育委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①見えない妊娠クライシス	共著	2021年3月	かもがわ出版	第3章2「母子のプライバシーと権利を守る内密出産」を執筆
②				
③				
④				
(学術論文)				
①遺留分制度の転換	単著	2020年4月	民商法雑誌156巻1号	2018年相続法改正の特集企画で、遺留分制度の改正について論じた
②特別養子制度の転換についての覚書	単著	2020年10月	家族(社会と法)第36号	2019年の特別養子縁組制度の改正について分析した
③				
④				
(学会発表)				
①総括～相続法改正の真意義と学術・実務の課題	単著	2021年3月	大阪司法書士会	大阪司法書士会家族法研究会研究発表会での発表
②				
③				
④				
(その他)				
①家族法研究者の視点からの特別養子法改正	単著	2020年10月	養子縁組と里親の研究第63号	2019年の特別養子縁組制度の改正について、主な点を解説するもの
②包括受遺者による遺産預金債権の払戻しの効力	単著	2020年11月	民事判例第21号(日本評論社)	東京地裁令和元年9月10日判決についての判例研究
③縁組の要件	単著	2020年12月	判例プラクティス民法Ⅲ第2版(信山社)	養子縁組の取消し、養子縁組の無効、無効な縁組の追認に関する判例解説
④				